

事業番号	09 04 03	事業改善シート（令和5年度実施事業分）		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	花き振興事業	部局	農政部	課・室	園芸畜産課		
		実施期間	H8 ~	E-mail	enchiku @ pref.nagano.lg.jp		

### 1 現状と課題

- ・気象変動等により花き市況は大きく変動し、花き生産にとってリスクが生じているため、花きの市場価格が下落した場合に生産者に価格差補てん金を交付し、花き経営の維持・継続を図る必要がある。
- ・県内花き生産量は、生産者の高齢化、他作目への転換等で、年々減少しているため、新規技術の導入により主要品目の生産力を強化するとともに、市場ニーズの高い品目の作付推進を行い、経営の安定化と県内花き生産量の維持・増加を図る必要がある。
- ・若年層を中心に花きの消費量は低い傾向であるため、将来的な消費者である若年層を中心に日常における花の購入・活用を促進し、花きの需要を創出する必要がある。

### 2 事業目的

- ・主要品目の生産振興、補完品目及び新品目の作付拡大により、生産者の所得向上を目指す。
- ・花き消費量の需要を掘り起こし、生産量の増加を図ることで、生産者の経営安定を目指す。

### 3 事業目的を達成するための取組

#### ①生産者の経営安定を図るための資金造成

主要花き6品目の市場価格下落時に価格差補てん金を交付するため、必要な資金を造成する。

#### ②花きの生産力強化と花の魅力発信・日常生活への浸透の促進

主要・補完・新品目の生産力強化のため、マーケットニーズに応える生産体制を整え、「売れる」商品づくりを目指す産地の支援を行うとともに、県内主要駅等での継続的なプロモーション活動や小中学生を対象とした花育教室を開催する。



小学校での花育教室

### 4 成果指標

(推移の凡例 ↗:改善 ↘:悪化 →:変化なし —:数値なし)

No.	指標名	単位	R3年度		R4年度		R5年度		R5年度 目標値	達成 状況	目標値設定理由
			実績	実績	推移	実績	推移				
①	特産花き生産出荷資金造成事業加入団体数	団体	15	15	→	14	↘	15	未達成	花き生産者の経営安定を図るため、事業に加入している団体数を設定。	
②	一世帯当たり切り花購入金額	円	6,451	6,434	↘	7,463	↗	6,673	達成	一世帯当たりの切り花購入額を新型コロナウイルス感染症拡大前並みの金額（5%増）に設定。	

### 5 本事業が貢献する総合5か年計画の施策分野と達成目標

No.	施策分野（施策の総合的展開名）	達成目標 (★印が付いているものは主要目標)	単位	直近3か年の状況						目標	
				年	数値	年	数値	年	数値	年	数値
2-1①	成長産業の創出・振興	★農業農村総生産額	億円	2021 (R3)	3,539	2022 (R4)	3,719	2023 (R5)	3,992 (県推計)	2027 (R9)	3,700

### 6 事業コスト

(単位: 千円、人)

区分	予算額					決算額	職員数
	前年度繰越	当初予算	補正予算等	合計			
				(予算現額)	うち一般財源		
R5年度	0	8,537	0	8,537	4,237	8,362	1.5
R4年度	0	8,560	0	8,560	4,260	8,491	1.5
R3年度	0	8,936	0	8,936	4,636	8,816	2.1

事業番号	09 04 03	<b>事業改善シート（令和5年度実施事業分）</b>		<input type="checkbox"/> 当初要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	<b>花き振興事業</b>		部局	農政部	課・室	園芸畜産課	

## 7 主な取組実績と成果

### ①生産者の経営安定を図るための資金造成

県主要6品目（キク、カーネーション類、トルコギキョウ、リンドウ、アルストロメリア）の価格安定のため、長野県、JA全農長野、生産者により、資金造成率100%を達成し、セーフティネットを確実に構築することができた。

### ②花きの生産力強化と花の魅力発信・日常生活への浸透の促進

- ・土壌病害に強いトルコギキョウの品種検討を行い、実証ほを設置することにより、情報を共有することができた。
- ・県産花きを使用したアレンジメントやフォトスポットを設置し、県産花きの認知度向上と花に親しむ機会を創出することができた。  
（5月：善光寺花回廊、9月：信州フラワーショー、11月：長野駅コンコース）
- ・県内の小学校8校で、地元産の花を使用した花育教室を開催した。  
花育教室に参加した児童の家庭に行ったアンケートでは、花育教室後、16.4%の家庭で花の購入額が増加した。



県産花きを使用したフォトスポット（善光寺花回廊）



地元で生産された花を使用した花育教室

## 8 成果指標の達成状況に関する要因分析

指標①	特産花き生産出荷資金造成事業加入団体数	R4年度推移	→	R5年度推移	↘	達成状況	未達成
資金造成率は100%を達成することができたが、収入保険の加入が進んだことにより、資金造成事業加入団体が減少した。							
指標②	一世帯当たり切り花購入金額	R4年度推移	↘	R5年度推移	↗	達成状況	達成
コロナ禍で増加した家庭内消費（巣ごもり）需要が定着、若い世代の花き購入額が増加したことや、自粛されていたイベントが再開されたことにより世帯当たり切り花購入額が増加した。							

## 9 今後の事業の方向性

### (1) 上記7、8及び県民の意見等を踏まえた課題

- ・生産力強化のため、主要品目の安定生産に加え、補完品目や新規品目の検討や生産技術を強化する必要がある。
- ・生産者の経営安定のために、セーフティネットを維持する必要がある。
- ・花きの需要を高めるためには、花きに親しむ機会の増加を図る必要がある。

### (2) 事業改善の方策

- ・生産力強化については、実証圃の設置や研修会を開催し、技術の高位平準化を目指す。
- ・主要品目についてセーフティネットが構築されるよう、JA全農長野、生産者団体と連携しながら計画に沿って資金造成率100%を目指す。
- ・花育教室については、児童への活動を継続することに加え、若年の社会人世代への活動を行い、需要創出を図る。

事業番号	09 04 03	<b>細事業一覧（令和5年度実施事業分）</b>	□当初要求 □当初予算案 □補正予算案 ■点検			
事業名	<b>花き振興事業</b>		部局	農政部	課・室	園芸畜産課

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
1	<b>特産花き生産出荷安定資金造成事業</b>	8,100 千円	8,100 千円	8,100 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	特産花き生産出荷安定資金造成事業	補助金	主要6品目（キク、カーネーション類、トルコギキョウ、リンドウ、アルストロメリア）の市場価格下落時に価格差補てん金を交付するため、必要な資金造成に対し補助 資金造成額8,100千円	

細事業 No.	細事業名	R3年度 決算額	R4年度 決算額	R5年度 決算額
2	<b>信州花き生産力強化事業</b>	- 千円	391 千円	262 千円
No.	細事業を構成する主な取組	実施方法	令和5年度実施内容（実績）（上段：事業概要、下段：活動によるアウトプット）	
1	主要品目の生産力強化	直接	主要品目の収量増加および品質向上のために、産地での高温対策及び病害対策技術等の実証試験を実施 実証試験：3か所	
2	ニーズの高い補完品目・新規品目の検討・推進	直接	生産者の経営安定化を図るため、市場、生産者団体等と連携したニーズの高い品目の選定検討会を開催 検討会：2回	
3	花のある暮らしの推進	直接	若年層への需要拡大、花文化の定着をはかるため、小中学校や施設での花育教室を開催する。県産花きを県内外の消費者へPRするため、長野駅や商業施設等で花きを展示 花育教室実施：21施設、長野駅での展示1回、商業施設等での展示：4回	